

## 「だいち2号」観測データの干渉解析による西之島の地殻変動

火砕丘の北側から東側にかけて溶岩の堆積等によるとみられる非干渉領域（砂目模様の場所）が見られ、北側、北東側及び東側で海岸線に達しています。また、火砕丘の北側から東側にわたる広い範囲で、堆積した溶岩の経時変化等によるとみられる複雑な変動が見られます（図1、図2）。

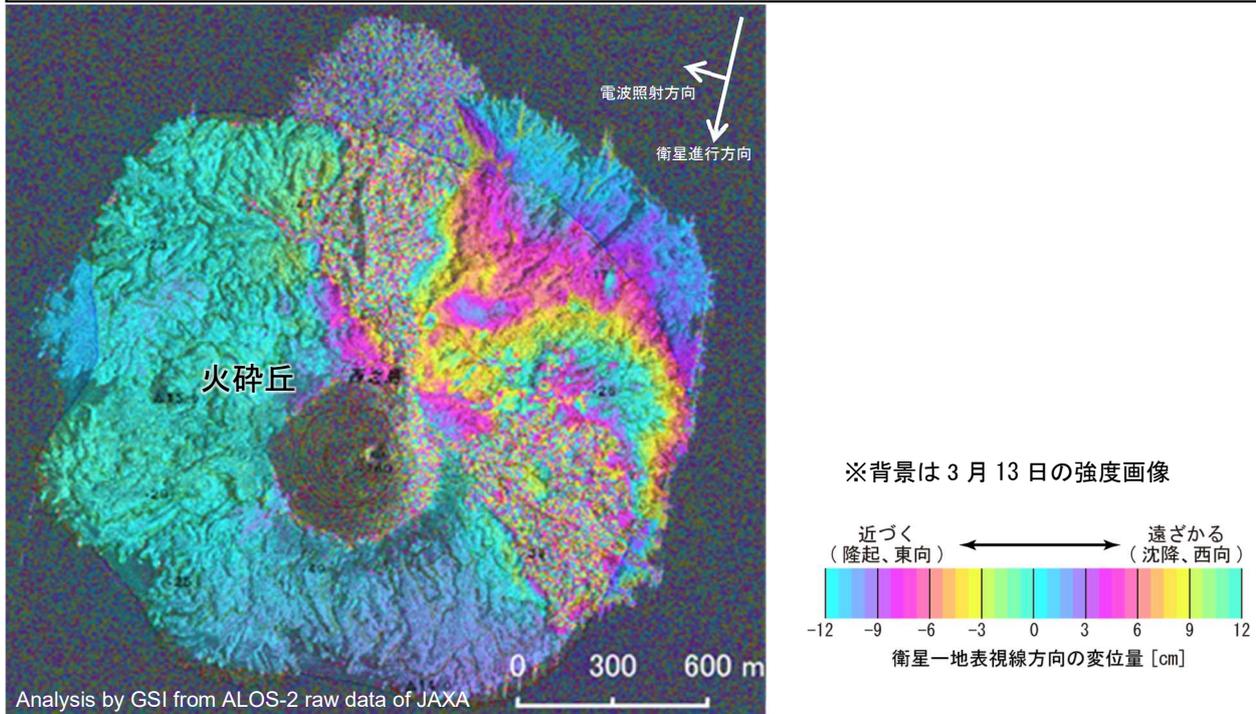


図1 2020年2月28日～2020年3月13日 11:18 衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

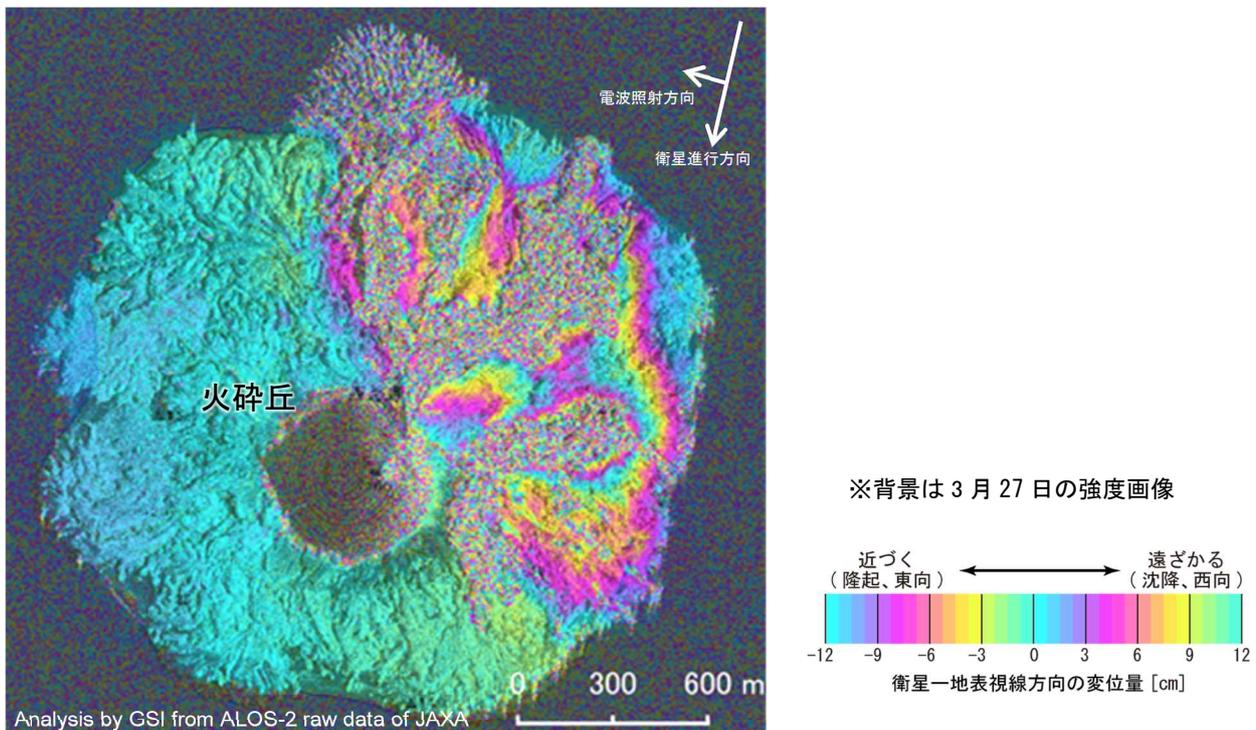


図2 2020年3月13日～2020年3月27日 11:18 衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

本解析のデータの一部は、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

国土地理院

## 「だいち2号」観測データの画像による西之島の地形変化

一連の噴火活動に伴い、火砕丘の北側から東側にかけて溶岩等によるとみられる地形変化が見られます（図3、図4）。また、火砕丘の北側及び北東側で溶岩等によるとみられる海岸線の変化が見られます（図5、図6）。

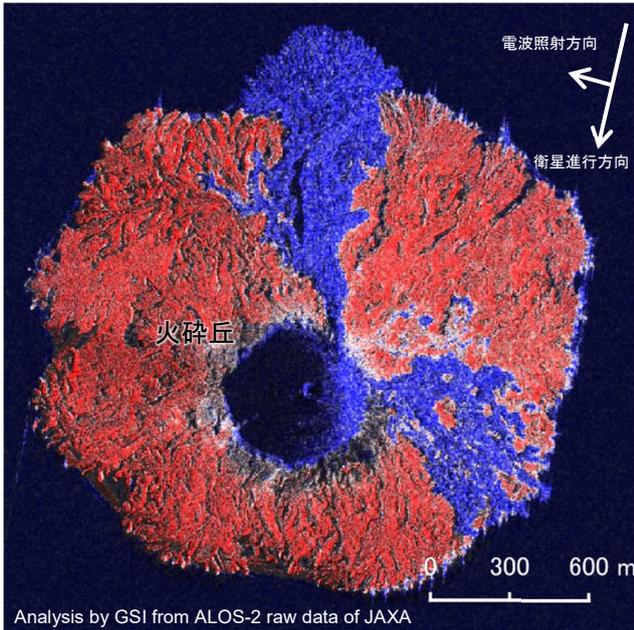


図3 顕著な地形変化が見られた箇所\*（青色）  
2020年2月28日～2020年3月13日 11:18  
※背景は3月13日の強度画像

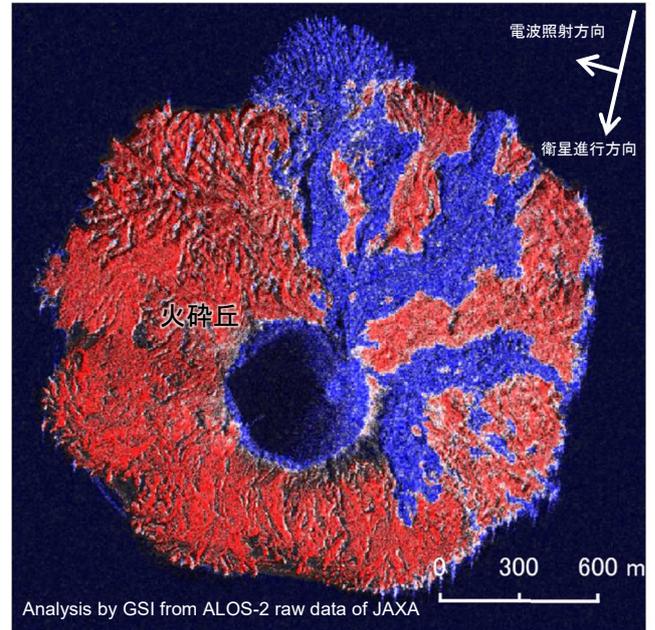


図4 顕著な地形変化が見られた箇所\*（青色）  
2020年3月13日～2020年3月27日 11:18  
※背景は3月27日の強度画像

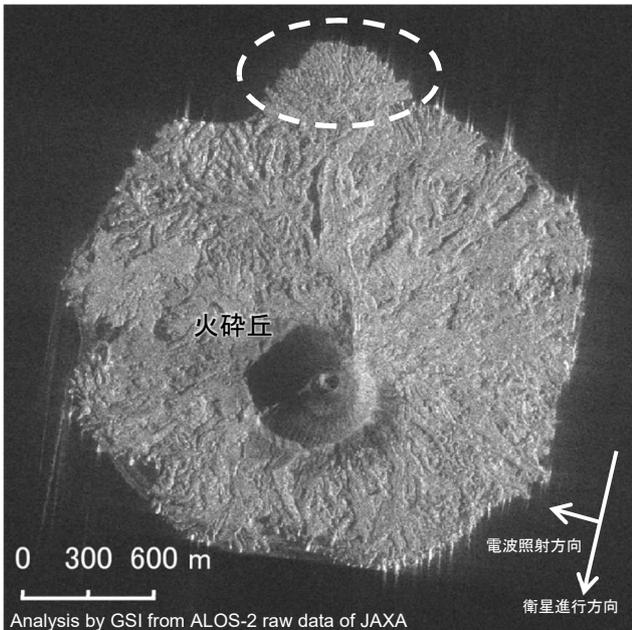


図5 2020年3月13日 11:18  
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

※海岸線の変化部分は、図3、図4の白破線内

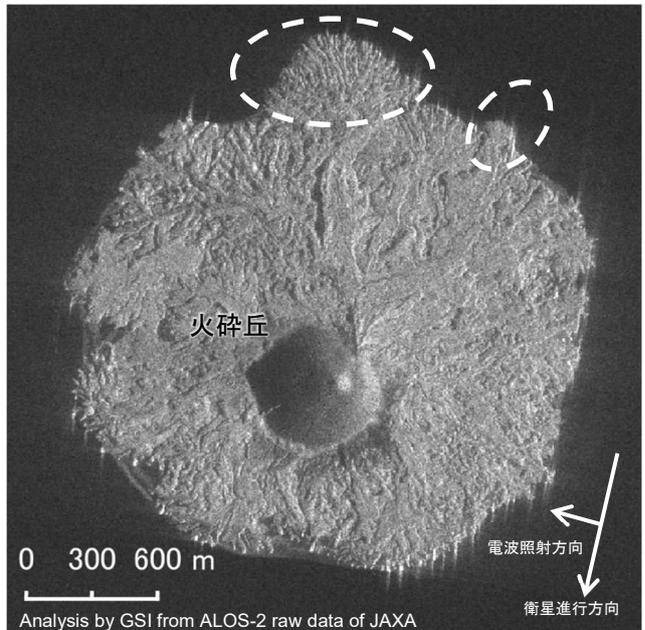


図6 2020年3月27日 11:18  
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

\*コヒーレンス（干渉性）が低い箇所を青色で示す